

令和4年度
指定管理事業報告書

札幌市身体障害者福祉センター指定管理者
公益社団法人 札幌市身体障害者福祉協会

■概要

令和４年度は、新型コロナウイルスの感染は続いたものの、緊急事態宣言やまん延防止措置が発令される状況ではなかったことから、札幌市身体障害者福祉センター（以下「身障センター」という。）の臨時休館などではなく、手指消毒や使用した備品等の消毒、貸室の利用人数制限等の対策を実施した。また、令和３年度に実施された身障センターのレイアウト変更工事に伴うような貸室の一部制限はなかった。

令和４年度指定管理業務については、札幌市身体障害者福祉センター管理業務仕様書に基づき、次の方針を基本に管理運営を実施したところ、新型コロナウイルス感染発生以前の状態には戻らなかったものの、身障センターの利用者数、福祉バス利用者数とも令和３年度より大幅に増加した。

【方針】

- （１）札幌市の公の施設であることを常に念頭におき、市民の福祉の増進に努め、市民の公平な利用に供するよう管理運営を行った。
- （２）施設の設置目的を常に念頭におき、適切な管理運営を行った。
- （３）さっぽろ障がい者プランに定める目標の達成その他札幌市の障がい福祉施策との整合性を図りながら施設の管理運営を行った。
- （４）サービス水準の維持向上に努め、安定的かつ継続的なサービスを提供するよう管理運営を行った。
- （５）利用者や地域住民の声を常に把握し、施設の管理運営に反映させた。
- （６）最少の経費で最大の効果を挙げるよう管理運営の効率化に努めた。
- （７）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、身障センター内における感染防止策を徹底した。

１ 管理物件

- （１）施設の名称 ： 札幌市身体障害者福祉センター
- （２）施設の所在地 ： 札幌市西区二十四軒２条６丁目
- （３）土地 ： 面積 ３，１３８．６６㎡
- （４）建物 ： 構造・規模 鉄骨・鉄筋コンクリート造、一部地下１階地上３階
延床面積 ５，２７６．３１㎡
主要施設 相談室、機能回復訓練室、水浴訓練室、料理実習室、
和室、研修室、大会議室、小会議室（３室）、体育館、
卓球室、図書コーナー、事務室、ロビー等、車庫
- （５）設備 ： 電気設備、衛生設備、空調設備、消防設備、その他の附帯設備
- （６）備品 ： 札幌市から貸与された備品

２ 管理の基準

（１）開館時間及び休館日について

- 開館時間 ： 午前８時４５分から午後９時００分まで
 （日曜日・祝日は、午前９時００分から午後６時００分まで）
- 休 館 日 ： ①毎月第２水曜日及び第４水曜日
 ②１２月２９日から翌年１月３日まで
- 使 用 料 ： 無 料

（２）センターの使用承認について

施設の使用の承認は、札幌市老人・身体障害者福祉施設条例（昭和４０年条例第３０号）、札幌市老人・身体障害者福祉施設条例施行規則（昭和４０年規則第５３号）及び札幌市身体障害者福祉センター使用承認等取扱要領の定めに基づき次により実施した。

○使用条件：札幌市内に居住する身体障害者手帳をお持ちの１８歳以上の方

○使用方法：個人・・・初めて利用する方は、所定の申請書に身体障害者手帳を添えて窓口へ提出し、使用登録証の交付を受ける。使用登録証の交付後は、利用の都度、使用登録証

を窓口に提出する。

団体・・・所定の申請書の提出により承認を受ける。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策の制限が緩んだことから、各室の利用人数及び稼働率は次のとおり、大幅に改善した。

<利用人数>

☆通常使用目的 (名)

部 屋	R3実績	R4実績
体 育 館	2,859	9,678
卓 球 室	934	2,831
研 修 室	1,180	3,865
第1会議室	124	935
第2会議室	61	477
第3会議室	54	907
音 楽 室	223	-
和 室	34	1,667
大会議室	1,289	10,578

☆特定使用目的 (名)

部 屋	R3実績	R4実績
料理実習室	0	194
実 習 室	315	1,294
パソコン室	14	-

<稼働率>

☆通常使用目的 (%)

部 屋	R3実績	R4実績
体 育 館	30.0	62.0
卓 球 室	16.5	27.6
研 修 室	23.7	42.9
第1会議室	6.7	34.4
第2会議室	3.0	15.2
第3会議室	3.2	20.5
音 楽 室	7.4	-
和 室	0.9	29.5
大会議室	15.8	67.0

☆特定使用目的 (%)

部 屋	R3実績	R4実績
料理実習室	0.0	4.3
実 習 室	12.2	28.9
パソコン室	0.4	-

(3) 情報公開について

情報公開については、札幌市情報公開条例、札幌市指定管理者情報公開要綱及び札幌市出資団体等情報公開要綱に基づき適正に対応することとしている。(請求件数0件)

(4) 環境への配慮について

管理業務を行うにあたっては、環境マネジメントシステムを基本に環境への配慮に努めた。

ア 電気、水道、重油、ガス等の節約に極力努めるよう利用者・再委託業者等へ協力依頼するとともに、職員による館内の巡回を適宜行い、不要灯の消灯などを日常的に実施した。

イ ごみ減量及びリサイクルに努めるよう利用者・再委託団体等へ協力依頼した。

ウ 清掃に使用する洗剤等は、環境に配慮したものを使用し、極力節約に努めるよう再委託団体を指導した。

エ 自動車等の使用にあたっては、アイドリングストップなど環境に配慮した運転に心がけるよう職員を指導した。

(5) その他

ア 管理業務を行うにあたり、再委託、物品の調達に際し札幌市内の企業等の活用を努めた。

イ 管理業務を行うにあたり、障がい者を職員として雇用した。また、再委託業務の清掃委託業務を知

的障害者を雇用している社会福祉法人に委託するなどして、市の福祉施策への積極的な取組みに努めた。

ウ 再委託契約の業者決定は、指名競争入札・見積合せにより行い、契約の透明性を図った。

3 施設の維持管理に関する業務

(1) 施設、設備等の維持に関する管理

施設、設備等の維持管理業務の実施にあたっては、身障センターが公の施設であることに鑑み、関係法令の規定に基づき、施設、設備等の全般の機能を良好に維持管理するため、日常点検の徹底を図り、常に良好な施設、設備の状態に維持することに心がけた。

ア 清掃業務

清掃業務の実施にあたっては、施設の快適な環境を保つため、日常及び定期清掃並びに廃棄物収集処理等を行った。

新型コロナ感染防止策として、特に、手摺、ドアノブなど手で触れる共用部分については、念入りに消毒作業を実施した。貸室の消毒については清掃業者が実施するほか、利用後も利用後に消毒を行った。

イ 警備業務

施設の秩序を維持し、火災、盗難、破壊等のあらゆる事故の発生を警戒・防止するため警備員による定期・不定期な館内外の巡回を実施することにより、財産の保全と人身の安全を図った。

ウ 施設及び設備の保守点検業務

施設等の全般の機能を良好に維持管理するために、有資格者等による法定点検やその他必要な保守点検業務を専門業者に委託して実施した。

(再委託業務)

- ・空調・給排水・衛生設備保守管理
- ・エレベーター保守管理
- ・自動ドア保守点検
- ・消防設備点検
- ・自家用電気工作物保安全管理
- ・清掃
- ・警備
- ・電話設備保安及び非常呼出装置点検
- ・塵芥処理
- ・除排雪

エ 受付案内及び図書コーナー業務

開館時間内は、身障センター1階事務室受付カウンターに受付案内員を1名以上配置(午後5時15分以降は警備員が担当)し、施設の使用受付、案内及び図書の貸し出し等を仕様書に基づき実施した。

オ 備品管理

館内に備え付けられている備品については、市民等の利用に支障が生じることのないよう、常に保守点検を行うとともに、随時修繕を行った。

また、札幌市と協議のうえ利用者に危険が生じる恐れのある備品については、随時更新している。

カ 駐車場管理

利用者の駐車場の利便性向上のため、車いす利用者が優先的に駐車できるよう配慮した誘導等を行った。

キ 外構緑地管理

敷地内の植木については、剪定、除草、病虫害防除などを行い適切な維持管理に努めた。

ク 修繕等

施設管理上のトラブルが原因で市民等の利用に支障が生じることのないよう、日常点検を徹底するとともに、施設及び設備全般について、破損、故障等が発生した場合は、札幌市と協議のうえ早期に修繕を実施した。

(主な修繕工事)

- ・空調設備修繕
- ・防犯カメラ設備整備
- ・事務室等ドア交換
- ・洗車機修繕

(2) 防災業務

第1回目の防災訓練は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、多人数が集まる避難訓練は実施せず、身障センター内の職員各自において、Web上の動画の視聴による火災時の自衛消防訓練を実施した。また、

第2回目の防災訓練は、新型コロナウイルス感染症も小康状態だったことから、身障センター内の会議室においてビデオ視聴による消防訓練と館内の避難経路の確認を行った。

(3) 損害賠償保険の加入

管理業務の実施にあたり、指定管理者の故意又は過失により札幌市又は第三者に損害を与えた場合は、指定管理者が賠償責任を負うことになるため、指定管理者においては、次に掲げる内容を補償する損害賠償責任保険に加入した。

- (ア)対象 : 身障センター内における維持管理期間中の法律上の賠償責任
- (イ)対人補償 : 1名につき3,000万円 1事故あたり1億円
- (ウ)対物補償 : 1事故あたり1,000万円
- (エ)エレベーター(3基)事故補償 :
 - 対人補償 1名につき3,000万円 1事故あたり1億円
 - 対物補償 1事故あたり1,000万円
- (オ)期間 : 令和4年4月1日から令和5年4月1日まで
- (カ)その他 : 被保険者を指定管理者(指定管理者から委託を受けた者を含む。)及び札幌市とし、交差責任担保特約を付ける。

(4) 職員の配置

指定管理業務を適切に実施するため、所長以下11名の職員を配置し、業務に従事させた。

また、その内1名については、指定管理業務専従職員として、身障センター事務室にて執務する体制を整えて、業務遂行に万全を期した。

(5) 上記に付随する業務について

札幌市身体障害者福祉センター内にある札幌市障がい者更生相談所並びに札幌市身体障害者福祉協会、札幌市障がい者スポーツ協会、札幌市肢体障害者協会、札幌市視覚障害者福祉協会及び札幌市中途失聴・難聴者協会の事務室に係る施設、設備等の維持管理の内、清掃・機械警備・施設管理・塵芥処理については、身障センターの維持管理に付随する業務として取り扱った。

(6) その他

・光熱費の負担

身障センター内にある札幌市障がい者更生相談所並びに札幌市身体障害者福祉協会、札幌市障がい者スポーツ協会、札幌市肢体障害者協会、札幌市視覚障害者福祉協会及び札幌市中途失聴・難聴者協会の事務室の維持管理業務に要する上下水道及び電気等の光熱水費について、仕様書に基づき身障センターの維持管理費として負担した。

4 事業の実施に関する業務

次の業務については、「管理業務の計画書」に基づき実施した。実施状況等については、次のとおりであった。

(1) 機能回復訓練事業等に関する業務

ア 機能回復訓練

運動訓練、日常動作訓練、物療訓練等を理学療法士・物理療法担当者各1名の指導のもとに実施した。

- ・運動・日常動作等の実施回数 95回、参加人数 413名
- ・水浴訓練の実施回数 0回、参加人数 0名
- ・渦流浴訓練の実施回数 0回、参加人数 0名
- ・自主訓練の実施回数 288回、参加人数 691名

イ 言葉の教室

失語症の方を対象に、グループ討論会などを通じて総合的に言語訓練を実施した。

- ・実施回数 12回、参加人数 158名

ウ 失語症言語機能訓練

言語聴覚士1名を配置し、失語症の方を対象に自立促進と社会生活への適応力を高めることを目的に、発声や発語等の訓練を行った。

- ・実施回数 38回、参加人数 75名

エ 音声機能訓練

疾病などによって喉頭を摘出して音声機能を失った方を対象に、コミュニケーションの円滑化や社会参加の促進を目的に発声訓練を行った。

- ・実施回数 21回、参加人数 294名

オ オストメイト社会適応訓練

ストマ用装具を利用している方やその家族を対象に、社会生活に必要な知識を習得し、不安を取り除くことで社会参加の促進を図るための相談会を実施した。

- ・実施回数 6 回、参加人数 75 名
- (2) 各種相談事業に関する業務

就職・結婚・身の上相談等、障がいのある方の各種相談に応じ、必要な助言、指導を行った。

 - ・相談件数 21 件（結婚相談 4、身の上相談 11、その他 6）
- (3) 教養講習会等事業に関する業務
 - ア 各種教養講座の開催

利用者ニーズを反映した多彩な講座を展開し、身体障がい者の生涯学習意欲の増進を図った。

 - ★創造的活動講座
 - ・生花教室・・・・・・ 22 回、 67 名
 - ・短歌教室・・・・・・ 12 回、 39 名
 - ・陶芸教室・・・・・・ 48 回、 97 名
 - ・手芸教室（肢体）・・ 21 回、 82 名
 - ・手芸教室（中途失聴・難聴者）
・・・・・・・・・・ 11 回、 57 名
 - ・絵画教室・・・・・・ 23 回、 130 名
 - ★社会適応訓練
 - ・手話教室・・・・・・ 44 回、 805 名
 - ・ペン字教室・・・・・・ 21 回、 179 名
 - ・料理教室（肢体）・・ 6 回、 41 名
 - ・料理教室（中途失聴・難聴者）
・・・・・・・・・・ 8 回、 50 名
 - ・英会話教室・・・・・・ 36 回、 181 名
 - ・トータルコミュニケーション教室（中途失聴・難聴者）
・・・・・・・・・・ 1 回、 21 名
 - ・健康づくり教室・・ 4 回、 12 名
 - ★レクリエーション講座
 - ・民謡教室・・・・・・ 42 回、 238 名
 - ・カラオケ教室・・・・ 11 回、 48 名
 - ・囲碁教室・・・・・・ 37 回、 276 名
 - ・茶道教室・・・・・・ 24 回、 69 名
 - イ スポーツ教室の開催

スポーツを通じて機能回復訓練や健康・体力増進を図るとともに、社会への積極的な参加促進を図った。

 - ・卓球教室・・・・・・ 24 回、 235 名
 - ・アーチェリー教室・・ 16 回、 58 名
 - ・水泳教室・・・・・・ 45 回、 253 名
- (4) レクリエーション活動費助成事業に関する業務

障がい者の社会活動への参加促進と生きがいの高揚を目的に、活動しているスポーツクラブ及び文化クラブに対して活動費の助成を行った。

 - ・スポーツクラブ・・・・・・ 8 団体
 - ・文化クラブ・・・・・・ 2 団体
- (5) 各種行事の開催に関する業務

毎年、10 月を「身体障害者福祉月間」とし、身体に障がいのある方の社会参加促進や身体障がい者に対する市民の理解を深めていくことや地域住民との交流を目的に各種行事を実施した。ただし、一部は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

 - ア 文化祭

日ごろの障がい者の文化活動の紹介と地域の方々との交流を目的に、楽器演奏や作品展示、バザーなどを実施した。
 - イ 金婚・銀婚をねぎらう会

結婚 25 年・50 年を迎えた方のお祝いと、その労をねぎらい対象者 6 組に記念品を贈呈した。
（ダイヤモンド婚 1、金婚 5）
 - ウ ありがとうごころうさまの集い

障がいを克服し、模範的自立更生を遂げた方に対し、これまでの労をねぎらい、表彰を行った。
（札幌市視覚障害者福祉協会文化祭と併せて実施）
- (6) 福祉バス事業に関する業務

身体障がい者のレクリエーションや行事などへの移動支援として、車いすリフト付きバス及びチェアキ

・大型バス	件数	121件	利用人数	2,364名	稼働率	49.79%
・中型バス	件数	92件	利用人数	1,700名	稼働率	37.86%
・チェアキャブ1号	件数	19件	利用人数	76名	稼働率	7.82%
・チェアキャブ2号	件数	0件	利用人数	0名	稼働率	0%

令和4年7月11日、身障センターで開催し、障害者週間記念事業等について情報交換を行った。
(構成団体)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くがオンラインや書面等で参加し、全国や地域レベルの障害者関係団体と情報交換を行った。

令和4年度札幌市身体障害者福祉センター指定管理事業
収 支 決 算 書

科 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
収益の部				
事業収入	115,222,000	118,792,000	3,570,000	
指定管理費	115,222,000	118,792,000	3,570,000	
その他の収入		100,146	100,146	
その他の収入		100,146	100,146	
経常収益計	115,222,000	118,892,146	3,670,146	
費用の部				
人件費	46,287,000	43,885,484	△2,401,516	
報酬	-	1,836,000		1名
給料	-	21,321,871		5名
賃金	-	12,116,335		6名
通勤手当	-	1,675,426		
法定福利厚生費	-	6,288,120		社会保険料
福利厚生費	-	649,732		職員退職掛金
事業費	68,935,000	80,605,650	11,670,650	
旅費交通費	13,000	0	△13,000	
消耗品費	600,000	1,429,678	829,678	
通信運搬費	300,000	539,806	239,806	
印刷製本費	160,000	80,302	△79,698	
修繕費	800,000	2,448,655	1,648,655	
賃借料	600,000	190,542	△409,458	
諸謝金	5,300,000	6,481,433	1,181,433	
助成費	900,000	726,468	△173,532	
車両費	2,414,000	1,897,399	△516,601	
食料費	0	0	0	
負担金	0	32,600	32,600	
水道光熱費	10,928,000	13,275,775	2,347,775	
委託業務費	46,000,000	51,905,754	5,905,754	
保険料	70,000	63,280	△6,720	
什器備品費	500,000	1,206,197	706,197	
支払手数料	100,000	109,666	9,666	
租税公課	50,000	36,633	△13,367	
減価償却費	200,000	174,752	△25,248	
特定費用準備金	0	0	0	福祉バス修繕等事業
雑費	0	6,710	6,710	
経常費用計	115,222,000	124,491,134	9,269,134	
当期経常増減額	0	▼5,598,988	▼5,598,988	

※「その他の収入」内訳 ・雑収入 100,000 円
 ・受取利息 146 円

令和4年度 経営状況を説明する資料

公益社団法人 札幌市身体障害者福祉協会

【資料】

- 1 令和4年度正味財産増減計算書〈総括表〉
- 2 令和4年度正味財産増減計算書〈内訳表〉
- 3 貸借対照表
- 4 財産目録

【議案第2号】

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会員会費	200,000	200,000	0
物品販売収益配当金	3,118,933	2,813,874	305,059
市受託費	17,126,210	13,970,806	3,155,404
指定管理費	118,792,000	115,222,000	3,570,000
貸付資金貸付利息	70,000	64,640	5,360
市補助金	3,500,000	1,900,000	1,600,000
道補助金	100,000	0	100,000
民間補助金	150,000	150,000	0
独立行政法人助成金	300,000	300,000	0
広告費	70,000	65,000	5,000
受取利息	1,468	8,422	-6,954
雑収入	554,381	66,730	487,651
指定正味財産からの振替額	1,032,496	1,000,000	32,496
他会計からの繰入額	0	0	0
経常収益計	145,015,488	135,761,472	9,254,016
(2) 経常費用			
① 事業費	147,293,171	137,118,600	10,174,571
役員報酬	2,256,000	2,256,000	0
給料手当	23,451,871	22,963,077	488,794
賃金	16,296,982	16,208,016	88,966
通勤手当	1,919,337	1,962,542	-43,205
法定福利厚生費	7,208,751	6,487,507	721,244
旅費交通費	876,732	16,890	859,842
福利厚生費	875,672	845,149	30,523
消耗品費	1,765,210	1,816,933	-51,723
通信運搬費	880,379	816,264	64,115
印刷製本費	544,999	516,522	28,477
修繕費	2,448,655	2,259,730	188,925
賃借料	350,542	418,802	-68,260
諸謝金	16,646,108	9,875,215	6,770,893
助成費	1,896,468	1,640,000	256,468
車両費	1,897,399	6,045,863	-4,148,464
食料費	1,478	0	1,478
負担金	368,600	355,000	13,600
水道光熱費	13,614,018	9,650,919	3,963,099
委託業務費	52,028,945	51,802,017	226,928
保険料	116,026	107,602	8,424
什器備品費	1,206,197	368,951	837,246
租税公課費	37,233	32,200	5,033
支払手数料	130,604	138,845	-8,241
減価償却費	468,255	534,556	-66,301
雑費	6,710	0	6,710
② 管理費	3,507,362	3,173,192	334,170
役員報酬	156,376	156,376	0
給料手当	659,500	640,000	19,500
賃金	341,000	300,000	41,000
福利厚生費	531,000	425,000	106,000
会議費	36,167	27,565	8,602
消耗品費	0	703,802	-703,802
通信運搬費	1,630	2,474	-844
印刷製本費	0	310	-310

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
交際費	39,080	13,220	25,860
賃借料	184,593	260,424	-75,831
水道光熱費	137,000	97,000	40,000
委託業務費	82,500	107,250	-24,750
車両費	83,681	245,200	-161,519
租税公課費	71,200	83,450	-12,250
支払手数料金	1,760	2,420	-660
減価償却費	22,822	21,748	1,074
雑費	1,159,053	86,953	1,072,100
③ 他会計への繰出額	0	0	0
経常費用計	150,800,533	140,291,792	10,508,741
当期経常増減額	-5,785,045	-4,530,320	-1,254,725
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	-5,785,045	-4,530,320	-1,254,725
一般正味財産増減額	-5,785,045	-4,530,320	-1,254,725
一般正味財産期首残高	49,865,755	54,396,075	-4,530,320
一般正味財産期末残高	44,080,710	49,865,755	-5,785,045
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,032,496	1,000,000	32,496
受取寄付金	1,032,496	1,000,000	32,496
一般正味財産への振替額	1,032,496	1,000,000	32,496
一般正味財産への振替額	1,032,496	1,000,000	32,496
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	44,080,710	49,865,755	-5,785,045

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計		収益目的事業会計		法人会計	合計
	公 1	公 2	公益共通	小計	収 1	他 1	収益共通	小計		
水道光熱費	13,275,775	137,000	0	13,412,775	0	201,243	0	201,243	0	13,614,018
委託業務費	51,905,754	0	0	51,905,754	0	123,191	0	123,191	0	52,028,945
保険料	76,480	39,546	0	116,026	0	0	0	0	0	116,026
什器備品費	1,206,197	0	0	1,206,197	0	0	0	0	0	1,206,197
租税公課費	36,633	0	0	36,633	0	600	0	600	0	37,233
支払手数料	114,011	9,075	0	123,086	0	7,518	0	7,518	0	130,604
減価償却費	174,752	293,503	0	468,255	0	0	0	0	0	468,255
雑費	6,710	0	0	6,710	0	0	0	0	0	6,710
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	3,507,362	3,507,362
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	156,376	156,376
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	659,500	659,500
賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	341,000	341,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	531,000	531,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	36,167	36,167
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,630	1,630
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	39,080	39,080
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	184,593	184,593
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	137,000	137,000
委託業務費	0	0	0	0	0	0	0	0	82,500	82,500
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	83,681	83,681
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	71,200	71,200
支払手数料金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,760	1,760
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	22,822	22,822
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,159,053	1,159,053
③ 他会計への繰出額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	124,806,547	18,377,418	0	143,183,965	0	4,109,206	0	4,109,206	3,507,362	150,800,533
当期経常増減額	-4,644,401	-1,762,478	0	-6,406,879	3,118,940	-1,075,830	0	2,043,110	-1,421,276	-5,785,045
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	1,510,546	1,510,546	-3,118,940	1,075,830	0	-2,043,110	532,564	0
税引前一般正味財産増減額	-4,644,401	-1,762,478	1,510,546	-4,896,333	0	0	0	0	-888,712	-5,785,045
一般正味財産増減額	-4,644,401	-1,762,478	1,510,546	-4,896,333	0	0	0	0	-888,712	-5,785,045
一般正味財産期首残高	-23,856,203	-9,350,416	13,145,020	-20,061,599	9,875,692	-4,909,795	-3,118,389	1,847,508	68,079,846	49,865,755
一般正味財産期末残高	-28,500,604	-11,112,894	14,655,566	-24,957,932	9,875,692	-4,909,795	-3,118,389	1,847,508	67,191,134	44,080,710
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,032,496	1,032,496

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計		収益目的事業会計		法人会計	合計
	公 1	公 2	公益共通	小計	収 1	他 1	収益共通	小計		
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,032,496	1,032,496
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	1,032,496	1,032,496
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	1,032,496	1,032,496
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高										
正味財産期末残高	-28,500,604	-11,112,894	14,655,566	-24,957,932	9,875,692	-4,909,795	-3,118,389	1,847,508	67,191,134	44,080,710

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	19,138,552	27,324,271	-8,185,719
立替金	110,254	87,953	22,301
未収金	4,094,752	488,470	3,606,282
流動資産合計	23,343,558	27,900,694	-4,557,136
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
運営予備基金	1,300,000	1,300,000	0
スポーツ基金	15,000,000	15,000,000	0
自動車購入資金	14,000,000	14,000,000	0
事務局整備積立金	5,710,000	5,710,000	0
自立更生促進貸付予備基金	2,476,738	2,476,738	0
職員退職積立金	6,000,000	6,000,000	0
固定資産合計	44,486,738	44,486,738	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	3	3	0
器具及び備品	531,341	883,340	-351,999
ソフトウェア	756,654	85,032	671,622
出資金	10,000	10,000	0
長期貸付金	14,990,441	15,031,441	-41,000
その他の固定資産合計	16,288,439	16,009,816	278,623
固定資産合計	60,775,177	60,496,554	278,623
資産合計	84,118,735	88,397,248	-4,278,513
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,563,646	8,121,560	1,442,086
預り金	474,379	409,933	64,446
流動負債合計	10,038,025	8,531,493	1,506,532
2. 固定負債			
長期借入金	30,000,000	30,000,000	0
固定負債合計	30,000,000	30,000,000	0
負債合計	40,038,025	38,531,493	1,506,532
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	44,080,710	49,865,755	-5,785,045
正味財産合計	44,080,710	49,865,755	-5,785,045
負債及び正味財産合計	84,118,735	88,397,248	-4,278,513

財 産 目 録
令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	現金		56,648
	普通預金	北洋札幌市役所支店		2,635,310
		北洋札幌市役所支店		49,533
		北洋琴似中央支店		172,533
		北洋琴似中央支店		145,031
		北海道銀行鳥居前支店		326,944
		ゆうちょ銀行		13,456,851
		ゆうちょ銀行		97,459
		ゆうちょ銀行		291,896
		ゆうちょ銀行		1,254,085
		中央信用組合本店		52,010
		北海道信用金庫		355,252
		貯金事務センター		245,000
	*未収金		札幌市受託費以外	4,094,752
	*立替金			110,254
流動資産合計				23,343,558
固定資産				
特定資産 その他固 定資産	運営予備基金	北海道信用金庫	法人の管理資産	1,300,000
	スポーツ基金	北海道信用金庫	法人の管理資産	15,000,000
	自動車購入資金	北海道信用金庫他	法人の管理資産	14,000,000
	事務局整備積立	ゆうちょ銀行他	法人の管理資産	5,710,000
	自立更生促進貸	北海道信用金庫他	法人の管理資産	2,476,738
	職員退職積立金	北洋銀行	法人の管理資産	6,000,000
	車両運搬具	車両 (3 台)	法人の管理資産	3
	器具及び備品	プリスター・ワイヤレス スアンプ・紙折り機	公益目的保有財産・法人の管理資 産	531,341
	ソフトウェア	会計ライセンス	公益目的保有財産・法人の管理資 産	756,654
	出資金	北海道信用金庫	出資金	10,000
	長期貸付金		自立更生促進貸付金	14,990,441
固定資産合計				60,775,177
資産合計				84,118,735
(流動負債)				
	未払金		諸謝金他	9,563,646
	預り金		法定福利厚生職員掛金	474,379
流動負債合計				10,038,025
(固定負債)				
	長期借入金	札幌市から	自立更生促進貸付金	30,000,000
固定負債合計				30,000,000
負債合計				40,038,025
正味財産				44,080,710

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
備品		1円	大型プリンター	指定管理事業
備品		1円	ワイヤレスアンプ	指定管理事業
備品		1円	ブリストア点字速記用	盲ろう事業
備品		26,015円	デスクトップパソコン	指定管理事業
ソフトウェア		640,127円	会計ソフト	指定管理事業
備品		65,063円	留守番電話機	指定管理事業
備品		34,259円	モバイルパソコン	要約事業
備品		295,487円	ノートパソコン	要約事業
備品		110,511円	紙折り機	要約事業
合計		1,171,465円		